

CL-901-8

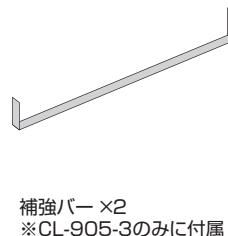
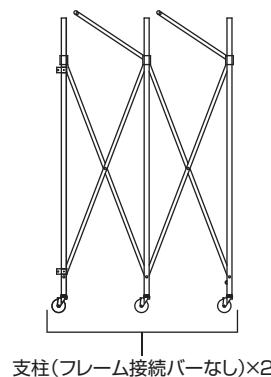
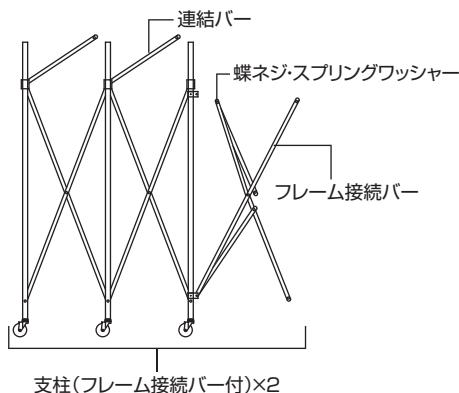
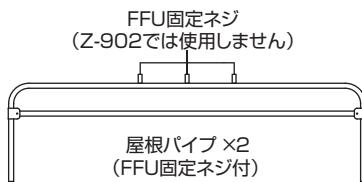
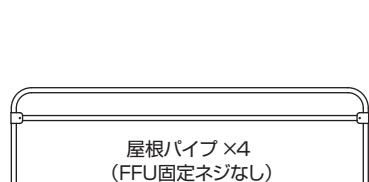
フレーム一式

CL-905-3

フレーム一式(補強バー付)

この組立説明書は、CL-901 クリーンブース、CL-905 陰圧ブース、CL-909 陽圧ブース、Z-902 遮蔽ブース に使用するフレームの組立方法を記載しています。シート、ファンフィルタユニットの取り付け、使用方法、注意事項などについては、それぞれのパーツに同梱している取扱説明書をご覧ください。

各部の名称と入組明細



注意文の警告マークについて

この組立説明書には下記のマークを付けています。

△拡大損害が予想される事項	◎禁止行為	●必ず行う
---------------	-------	-------

この組立説明書では注意事項を次のように区別しています。

△ 警告 …死亡、重傷をともなう重大事故のおそれがある内容のご注意
△ 注意 …傷害や物的損害のおそれがある内容のご注意

なお、△ 注意 として記載していても、あるいは特に記述がなくても、状況によっては重大な結果をまねくおそれがあります。正しく安全にご使用ください。

フレームの組み立て

1. 屋根パイプと支柱を右図のように床に寝かせる

同じものを2セット作りますが、1セットに使用するフレームは下記のとおりです。

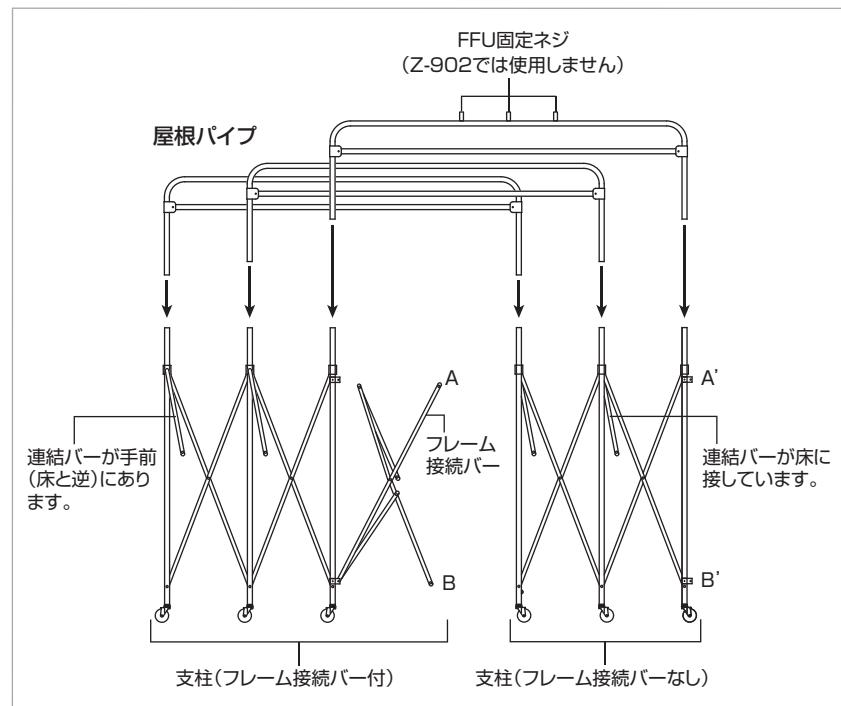
CL-901/CL-905/CL-909の場合

屋根パイプ(FFU固定ネジ付)	1本
屋根パイプ(FFU固定ネジなし)	2本
支柱(フレーム接続バー付)	1本
支柱(フレーム接続バーなし)	1本

Z-902の場合

FFU固定ネジは使用しませんので、取り外します。

屋根パイプ	3本
支柱(フレーム接続バー付)	1本
支柱(フレーム接続バーなし)	1本



2. 床に寝かせた状態のまま、屋根パイプと支柱を接続する

FFU固定ネジのある屋根パイプは、フレーム接続バーが付いている支柱と接続してください。

3. 1・2の手順に沿って同じものをもう1セット作る

4. 床から引き起こし、支柱を開いて自立させ、連結バーをかける

支柱それぞれいっぱいに開きます。うまく開かない場合は、屋根パイプの取り付けに誤りがあります。

無理に開かず、1の手順に戻り確認してください。



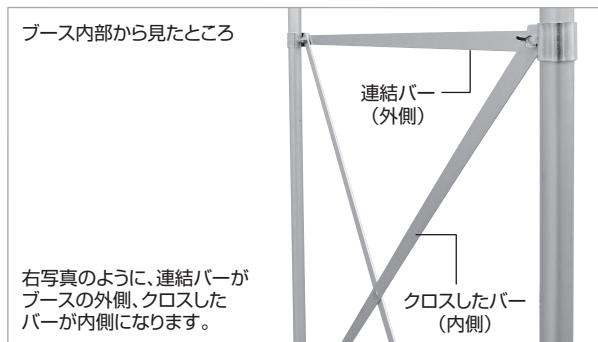
注意 ケガ・器物損傷のおそれがある。



必ず支柱を持って引き起こしてください。屋根パイプを持って引き起こすと、パイプが抜けて支柱が落下するため危険です。



5. ブース内部から見て、クロスしたバーが内側にあることを確認する

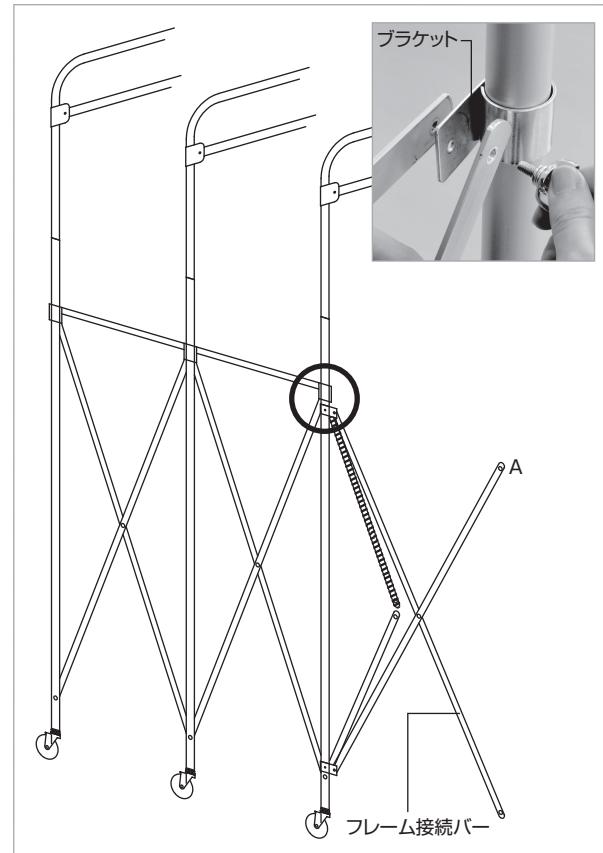


6. もう1セットも4・5の手順を行い、8の図のように配置する

フレームの組み立て

7. フレーム接続バーの○印の部分を支柱のブラケットに取り付ける

フレーム接続バーと斜線部の連結バーを留めているスプリングワッシャーと蝶ネジを一旦取り外します。支柱のブラケットとフレーム接続バーを挟むようにして、スプリングワッシャーと蝶ネジをブース内側から、フレームの外側（シートに接する側）に向けて差し込んで連結バーに取り付けてください。2セットとも行います。

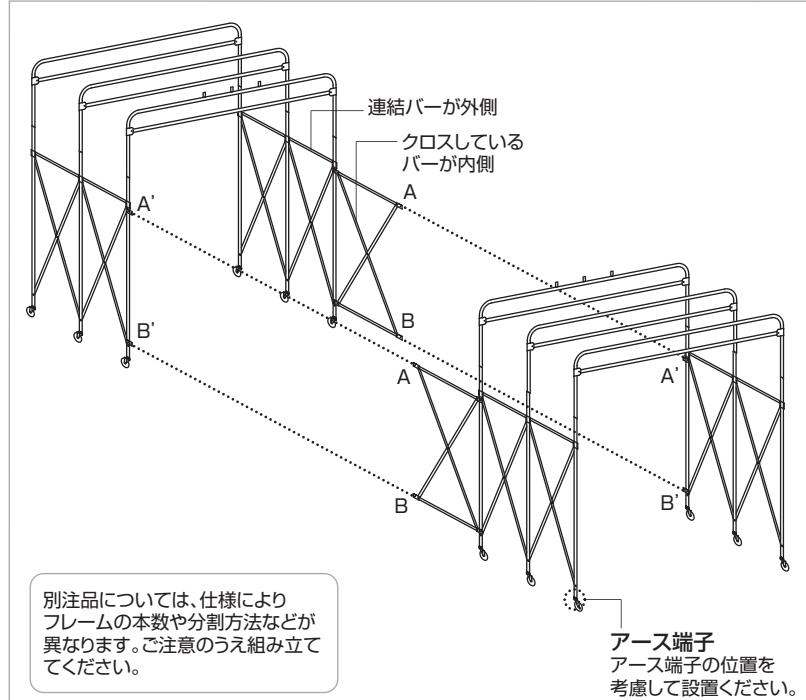


8. AとA'を、BとB'をそれぞれ接続する

Aのスプリングワッシャーと蝶ネジを一旦取り外し、
A'のブラケットをAの2本のバーで挟むようにして再度
スプリングワッシャーと蝶ネジを取り付けます。
BとB'も同様に接続します。

9. CL-901/CL-905/CL-909は、 コーナー支柱のアース端子の位置を 確認し、希望の位置に合わせる

ブースの四隅の支柱のうち1本にアース端子を設けています。
任意のアース線を接続することでシート部分も含みアースできます。



フレームの組み立て

10. CL-905はシート・FFUともに取り付けてから、CL-909はシートのみを取り付けてから補強バーを取り付ける

補強バーはブースを使用する場所で取り付けてください。出入口方向に見て、両端の支柱に屋根パイプと平行に取り付けます。

キャスターをロックして、右写真のように補強バーの上に置き(①)、シート固定用の面ファスナーで支柱と共に固定します(②)。

※ ブースのサイズ合わせや移動の際は、補強バーを一旦取り外してから行ってください。

CL-909はシートの裾を内側に折り込み、キャスター・補強バーの下に敷き込んでください。ブース内部の圧力が下がらないように、床面との間に隙間がないようにします。



ブースの伸縮

出入口方向の伸縮

中央部分以外の連結バーを開放すると、ブースを縮小することができます。



注意 転倒・ケガ・器物損傷のおそれがある。



奥行中央部分のフレーム接続バーと連結バーは開放しないでください(この部分は固定式です)。開放すると転倒のおそれがあります。収納する場合でも、右図の状態より縮小することはできません。

最小の例



ホーザン株式会社

本社 〒556-0021 大阪市浪速区幸町1-2-12

製品・補修部品はWebサイトにてご購入いただけます。
<https://www.hozan.co.jp/>



技術的なお問い合わせ

ホーザンテクニカルホットライン

06-6567-3132 / E-mail : th@hozan.co.jp

【月曜日から金曜日(祝日を除く)の10:30~12:00、13:00~17:00】